

憲法をいかし、いのちとくらしを守る平和な社会を！

2017年

国際女性デー 第57回宮城県集会

「世界で最も裕福な62人の資産は世界の貧しい37億人の人びとの総資産に匹敵する」～ひとにぎりの富裕者が富を独占し、大多数の庶民が貧困にあえいでいます。いま、世界に急速にひろがっている格差の実態は、私たちが直視しなければならない大問題です。

世界を歩き、格差問題の調査・提言・支援活動をしておられる森下麻衣子さんをお招きしてお話していただきます。「貧困と格差」の問題をご一緒に考えてみましょう。お誘いあわせてぜひご参加ください。

講師 ^{もりした まいこ} 森下 麻衣子さん

(特定非営利活動法人) オックスファム・ジャパン
アドボカシー・マネージャー 兼 事務局次長

講演 ひろがる格差と貧困
～日本でも、世界でも～

とき 2017年3月8日(水) 18:30～20:20

ところ エル・パーク仙台<6階>ギャラリーホール

(仙台三越定禅寺通り館/下図参照)

資料代 500円

★森下麻衣子さんプロフィール★

慶応義塾大学法学部法律学科卒業。

外資系投資銀行勤務を経て、国際交流を手がけるNGOの開発教育プログラムに従事。2010年よりオックスファム・ジャパンに入職。途上国の貧困問題にまつわる様々な政策課題について、日本政府へのアドボカシー(政策提言)やメディアへの情報発信を担当。これまで取り組んできた課題は、食料、農業、土地収奪、気候変動、格差とジェンダーなど。2015年より現職。

※オックスファムとは…世界90カ国以上で貧困を克服しようとする人々を支援し、貧困を生み出す状況を変えるために活動する国際協力団体。



地下鉄南北線「勾当台公園」下車
(南1番出口より地下道で連結)

主催 国際女性デー宮城県実行委員会

仙台市青葉区五橋1-5-13 新日本婦人の会宮城県本部気付 TEL022-262-5101

国際女性デーとは・・・

1904年3月8日にニューヨークの女性たちが「パンよこせ」「女性にも参政権を」とデモを起こした行動を記念して、1910年に3月8日を女性の解放と平和な社会建設のための国際的な戦いの日とすることが提唱され、国連は1975年（国際婦人年）にこの日を「国際婦人デー」と決めました。この日世界各国で記念行事や催しが開催されています。日本では1923年に第1回が弾圧の中で持たれ、今に歴史を引き継いでいます。



国際（国連）女性デー宮城県集会 第51回～第56回のあゆみ

回	日時	講師・所属	講演題目	会場
51	2011（平23）年 3月8日（火） 18：10～20：15	おぐり じゅんこ 小栗 純子 日本航空キャビンクルー ユニオン・副委員長	人間として客室乗務員として ～今、私達の闘いは～	エル・パーク仙台5階 セミナーホール
		空の絶対安全をめざして一日航の「整理解雇」とたたかう女性たちー 2010年12月31日、日本航空「整理解雇者」165名の一人となった小栗さんは、「裁判と職場の闘いでJALの真の再生をめざす」と凛としてお話をしてくださいました。		
52	2012（平24）年 3月8日（木） 18：15～20：15	いとう ちひろ 伊藤 千尋 ジャーナリスト 朝日新聞社記者	脱原発に向かう世界と日本 地球を生かす ～市民が創る自然エネルギー～	エル・パーク仙台6階 スタジオホール
		戦闘（せんとう）でなく銭湯（せんとう）を！ 憲法と地球の力を活かし、平和で安全な世界を！ 憲法を活かし平和を創る、社会を変える世界の人々の姿を全国各地で熱く語っている伊藤さんは、どう新しい社会を創っていけばいいのかを世界と日本の事例から提案してくださいました。		
53	2013（平25）年 3月8日（金） 18：15～20：15	かねこ まさる 金子 勝 立正大学法学部教授 憲法学	生きる権利と日本国憲法 ー”憲法の語り部”となるためにー	エル・パーク仙台5階 セミナーホール
		頭ではわかっていると思いつつ、実は知らないことも多い「憲法」について、資料を示しながら丁寧に説明してくださいました。「戦争する日本」づくりではなく、「平和的福祉国家」の考えのもとで初めて「3.11」の被災者の救済が可能となると熱く語ってくださいました。		
54	2014（平26）年 3月8日（土） 18：30～20：30	かたやま さとし 片山 知史 東北大学大学院 農学研究科教授	放射能汚染と水産物への影響 ー放射能汚染問題に どう向き合うかー	エル・パーク仙台5階 セミナーホール
		東日本大震災から3年、津波によって大きく改変した沿岸部も一部を除いて回復したと判断されるが「放射能さえなければ」という福島の漁民の悲痛な言葉の紹介と共に省庁を超えた水産物・食品管理システムの検討が必要と語られました。参加者の質問も多く、関心の高さが伺えました。		
55*	2015（平27）年 3月8日（日） 13：30～15：30	かな ともこ 海南 友子 ドキュメンタリー映画 監督	平和をめざすメディアの役割 ー母として、 ジャーナリストとしてー	TKPガーデンシティ 仙台勾当台ホール3
		学生時代やNHK入社後の体験を語られた後、フリーになって作った「にがい涙の大地から」は70年前日本軍が中国に遺棄した科学兵器の被害が今なお起きている現実を多くの人に知って欲しいと話されました。100年後の未来を見つめて生きなければ…と結んで、講演を終えました。		
56	2016（平28）年 3月8日（火） 18：15～20：15	ありま りえ 有馬 理恵 劇団俳優座所属 女優	差別と戦争をなくすために ～おしばいとおはなし～ ーふるえるような怒りの奥底に すぎるような生命の願いがあったー	エル・パーク仙台5階 セミナーホール
		水上勉さんの「釈迦内棺唄」を20分短縮バージョンで演じた後、同和問題や差別の体験等を具体的にお話してくださいました。最後に、日本軍慰安婦にされたフィリピンの女性になりきった「人間の尊厳を否定することはできない」という迫力のある語りに全身が揺さぶられました。		

*第55回宮城県集会後は、ミモザの花やプラカードを持って、勾当台公園市民広場から東一番町～青葉通りをパレードしました。



国際女性デー宮城県実行委員会